

須加に、如来さまあらわる！〜江戸時代の民間信仰〜

現在、須加地区にある如来堂（須加4728-1）は、江戸時代に建立されたもので、例年12月には地区の皆さんによって百万遍念仏が催されています。

『須加村如来堂紀行』という江戸時代の書物によると、当時の須加村に「如来さま」が現れたのは元禄3年（1690）4月のこと。当時、村内でも農業に励み何事にもまめな百姓家の庭に、冬なのに不思議と雪が積もらない一畳ほどの場所が以前からあり、その地面からまばゆい金の光を放つ阿彌陀三尊像（阿彌陀如来、観音・勢至菩薩）が見つかったというのです。このことは瞬く間に人々に知れ渡り、老若男女を問わず皆が駆けつけて拝みました。



如来堂境内に現存する
安永5年の敷石供養石柱

須加の如来さまはパワースポットとして江戸時代の須加村にぎわいをもたらす、今なお須加の人々を見守り続けています。

（郷土博物館 澤村怜薫）

尊の如来像が「どこことはなしに遷り遊ばされている」という噂が全国的に流れています。こうした中、一説によると「善光寺本尊と団体」とも唱えられる如来像が須加村で出現したのです。この風説は老中を務めていた忍藩主・阿部正武の耳にも入り、如来像は江戸に迎えられ上野の寛永寺の子院現龍院（げんりゅういん）でしばらく安置されます。しかし、眼を患っていた桂昌院（けいしょういん）五代將軍徳川綱吉（むねよし）の夢枕に如来像が現れて望んだことから、宝永7年（1710）春に須加村への帰郷が叶いました。

如来堂が現在の敷地に建立されると、境内には敷石が施されました。安永5年（1776）に建てられた敷石供養の石柱には「信州善光寺同體阿彌陀三尊像」の「阿彌陀」が刻まれており、当時は善光寺本尊と同一の如来像として信仰を集めていた様子が分かります。

はじめまして



令和元年12月生まれのお子さんを募集します

- 10月1日（休）～30日（金）に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当（内線318）※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、11月2日（月）午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



令和元年 10月生まれのおともだち



小河源 凰誠ちゃん（恋）
令和元年10月23日生まれ
父・信貴さん 母・由莉さん
「幸せな毎日がありがとつ♡」



香川 湊斗ちゃん（長野）
令和元年10月28日生まれ
父・涉さん 母・早織さん
「1に挨拶！2に笑顔！
笑う門には福来る！」



田部井 柊利ちゃん（中江袋）
令和元年10月30日生まれ
父・俊さん 母・千尋さん
「兄妹仲良く、
元気に育ってね♡」



堀口 瑚采巴ちゃん（荒木）
令和元年10月14日生まれ
父・大輔さん 母・沙友里さん
「家族みんなの宝物♡
可愛い笑顔たくさんみせてね」



岡田 壮翔ちゃん（和田）
令和元年10月3日生まれ
父・貴明さん 母・綾乃さん
「我が家の癒し♡
笑顔がありがとつ♡」



佐藤 優斗ちゃん（持田）
令和元年10月9日生まれ
父・輝雄さん 母・美樹さん
「YOU! ジャニーズ
入っちゃいなよ!」

今月の表紙

市では、子供たちの生きる力(学力、規律ある態度、体力)の育成を目指し、少人数によるきめ細かな指導や地域と連携した多様な学習を行っています。中央小学校1年生の皆さんも、元気に登校しています。子供たちは「今日は何を勉強するのか」と楽しそうに話していました。



目指せ! 友だち登録10,000人!
(現在3,200人)

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を使用しています